



## 雷から身を守るために

6月1日(月)の全校集会で、児童生徒を対象に「雷からの身の守り方」について話をしました。一昨年4月には熊本県内の高校で部活動中に落雷事故が発生しており、これからの季節は特に注意が必要です。

集会では、身を守るための「3つの行動」を紹介しました。

### ① 建物の中に入る

雷の音が聞こえたり、空模様が怪しくなったりした場合は早めに建物の中へ避難することが大切です。

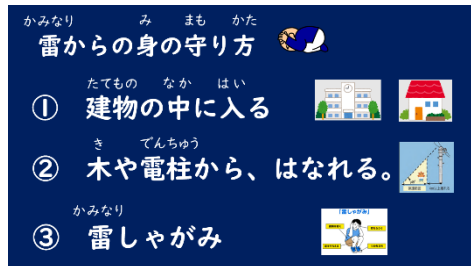
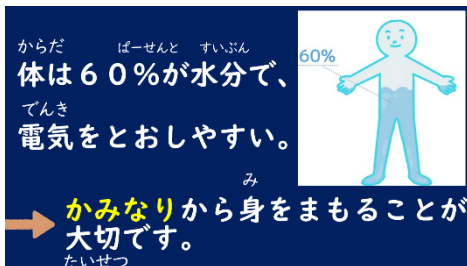
### ② 木や電柱から離れる

近くに建物がない場合は、木や電柱に落ちた雷の電流が人に伝わる危険があるため、できるだけ離れるようにします。

### ③ 雷しゃがみをする

どうしても避難する場所がない場合は、最終手段として姿勢を低くしてしゃがみます。

気象庁のウェブサイトでは、現在の雷の活動状況が確認できる「雷ナウキャスト」という情報が配信されています。これからの季節、ご家庭でもぜひご活用ください。



↑雷ナウキャスト

図:全校集会で説明したスライドの一部です

## 防災気象情報が新しくなりました

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			



↑気象庁ホームページ

(出典:気象庁ホームページ)

令和8年5月29日から、気象庁の防災気象情報が新しくなりました。主な変更点として、大雨、土砂災害、河川氾濫、高潮など、すべての情報に危険度を表す「レベル1~5」の数字がそのまま入るようになりました。【例:(旧)大雨警報→(新)「レベル3大雨警報」】

また、危険な場所から避難が必要な状況である「警戒レベル4相当」の情報は、「危険警報」として発表されます。詳しくは気象庁のホームページをご覧ください。